

CD-ROM 版 CREDAS 搬出先調査チェックリスト作成機能について

CD-ROM 版 CREDAS(以下、CREDAS)で作成した提出用ファイルを Web 上から一時的に副産物センターのデータベースに取り込み、取り込んだデータのチェックを行い、チェック内容を出力(ダウンロード)する CD-ROM 版 CREDAS 搬出先調査チェックリスト作成機能を追加しました。

※注意事項

本機能は CREDAS で作成した提出用ファイルを副産物センターのデータベースに一時的に取り込みデータチェックを行う機能です。取り込んだデータは、COBRIS には反映されません、データチェック後は副産物センターのデータベースから削除されます。

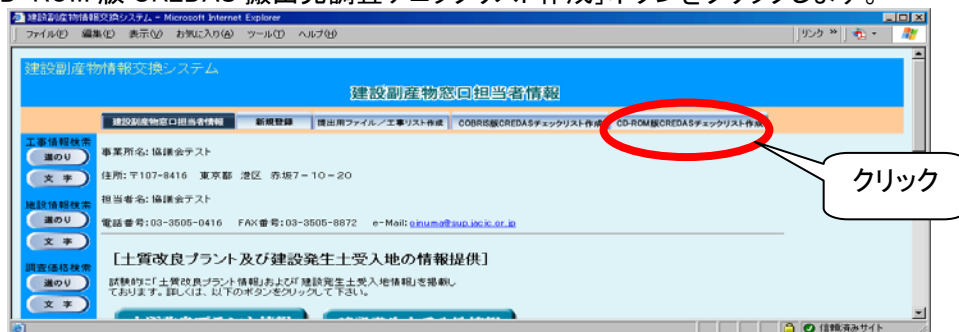
【操作方法】

- ① JACIC 建設副産物情報センターのホームページ(以下、URL)を表示します。
(URL) <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

- ② 副産物システム(COBRIS)にログインにします。
画面上部の[副産物システム]ボタンをクリックします。

※ 「副産物窓口担当者用」電子証明書が設定されていない場合、ログインできません。

- ③ [CD-ROM 版 CREDAS 搬出先調査チェックリスト作成]ボタンをクリックします。



- ④ 「1. 条件の指定」を行います。

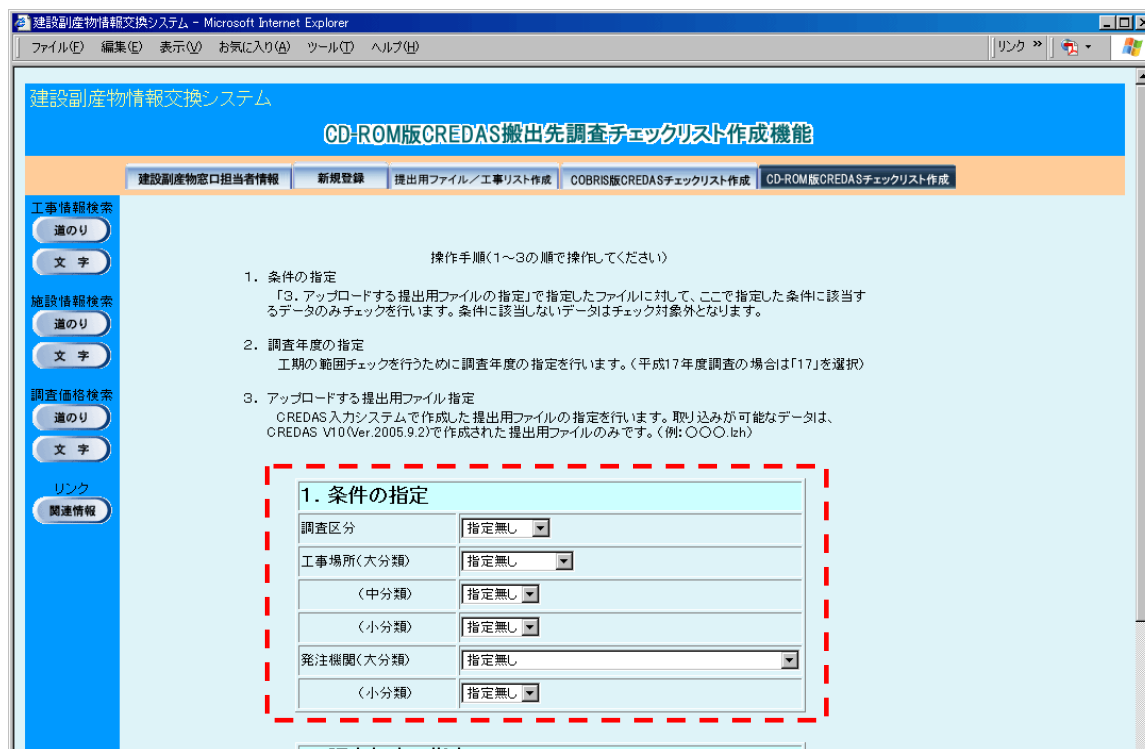
「3. アップロードする提出用ファイルの指定」で指定するファイルに対して、データチェックを行いたい条件の指定をします。ここで指定した条件に該当しないデータはチェックの対象外になります。

また、初期状態では、「3. アップロードする提出用ファイルの指定」で指定するファイルの上位調査区分をチェックする[指定なし]が選択されています。

※上位調査区分とは？

調査区分について、計画より実施が上位であることとし、1 工事で登録されている上位の調査区分のみを指します。

例： 計画と実施が登録されている工事 = 実施
計画のみ登録されている工事 = 計画



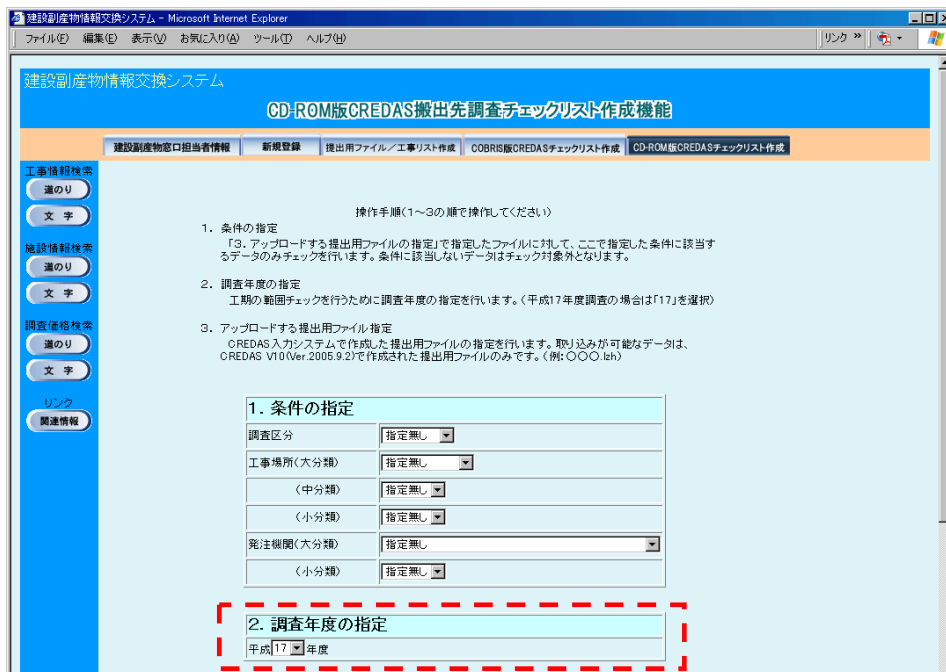
・条件の指定

項目	条件	説明
調査区分	指定なし	「3. アップロードする提出用ファイルの指定」で指定するファイルに対して工事の上位調査区分のみ検索対象とする 例: 計画と実施が登録されている工事 = 実施 計画のみ登録されている工事 = 計画
	計画	計画のみ検索対象とする
	実施	実施のみ検索対象とする
	計画・実施	計画と実施を検索対象とする
工事場所(大分類)	(地区エリア)	「3. アップロードする提出用ファイルの指定」で指定するファイルに対しての工事施工場所の指定
(中分類)	(都道府県)	
(小分類)	(市区町村)	
発注機関(大分類)	(機関単位)	「3. アップロードする提出用ファイルの指定」で指定するファイルに対しての発注機関の指定
(小分類)	(事務所単位)	

※ 「1. 条件の指定」は、「3. アップロードする提出用ファイルの指定」を行う前に実行してください。

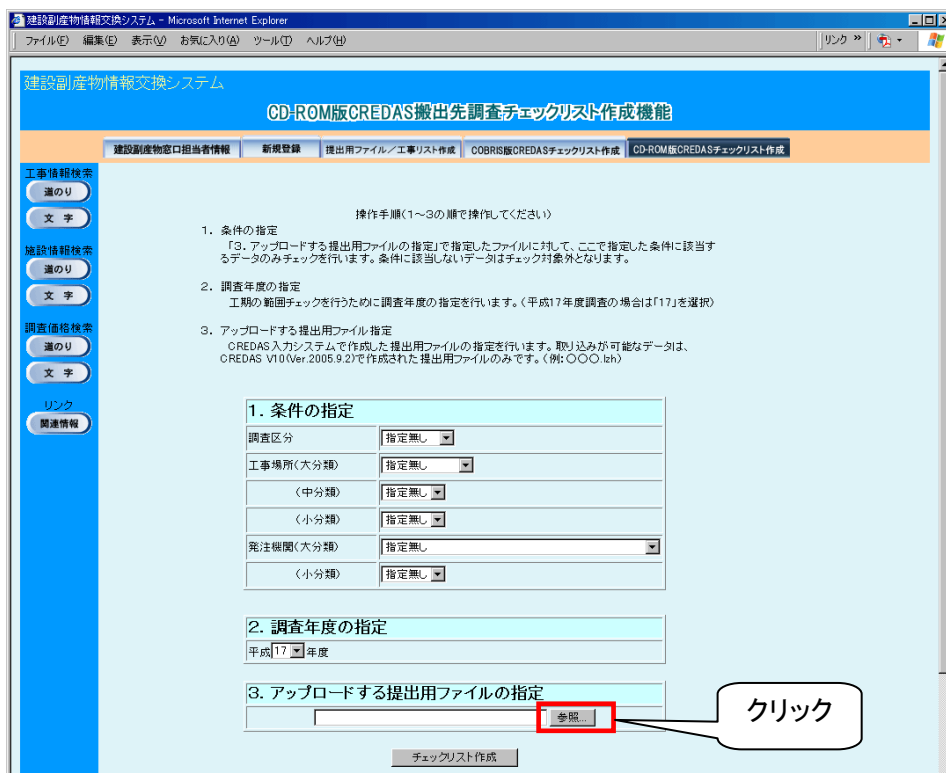
⑤ 「2. 調査年度の指定」を行います。

工期の範囲チェックを行うために調査年度の指定を行います。ここで指定した調査年度に該当しないデータはエラーとしてチェックリストに出力されます。平成 17 年度調査の場合は「17」を選択してください。

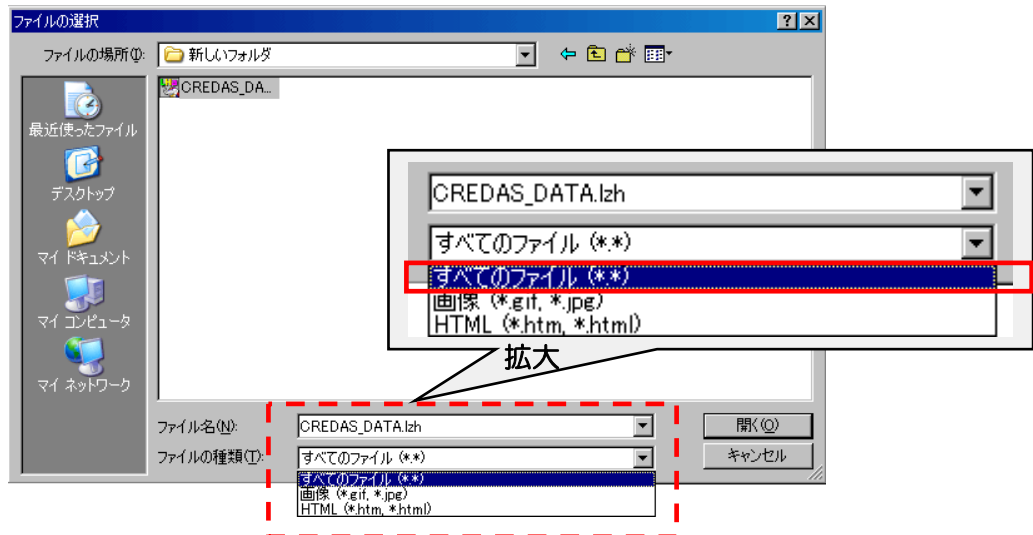


⑥ 「3. アップロードする提出用ファイルの指定」を行います。

「3. アップロードする提出用ファイルの指定」項目内にある[参照]ボタンをクリックします。

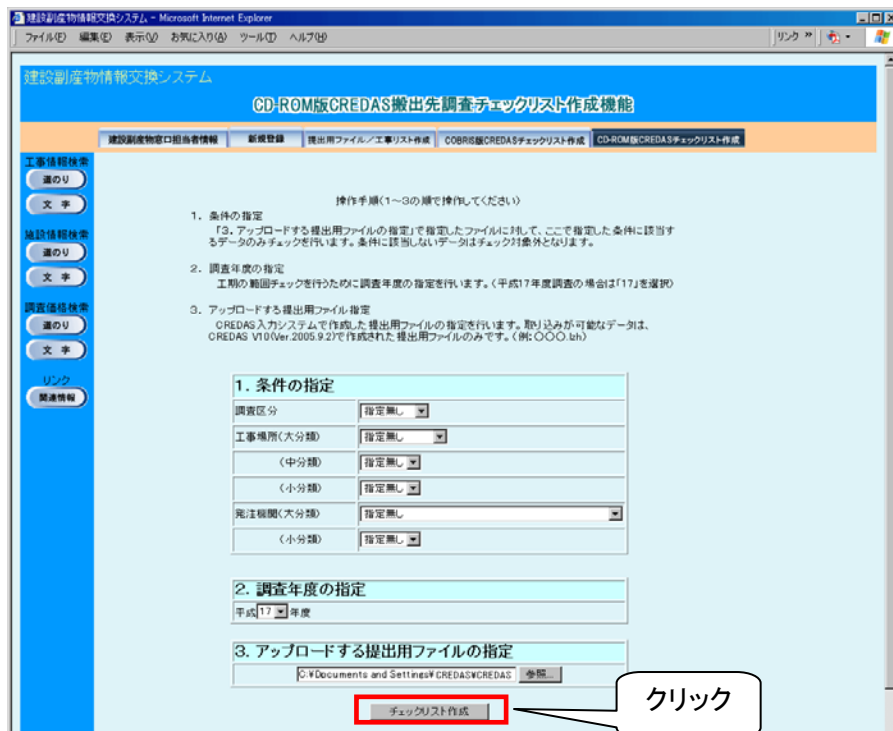


「ファイルの選択」画面が表示されたら、CREDAS 入力システムで作成した提出用ファイルが保存されているフォルダを選択し、「ファイルの種類」で「すべてのファイル」を選択した後に、該当ファイルをクリックして、ファイル名が入力されているのを確認し、「開く」ボタンをクリックします。



⑦ 「チェックリストの作成」の実行

「3. アップロードする提出用ファイルの指定」に指定したファイルが表示されていることを確認し、「チェックリスト作成」ボタンをクリックします。



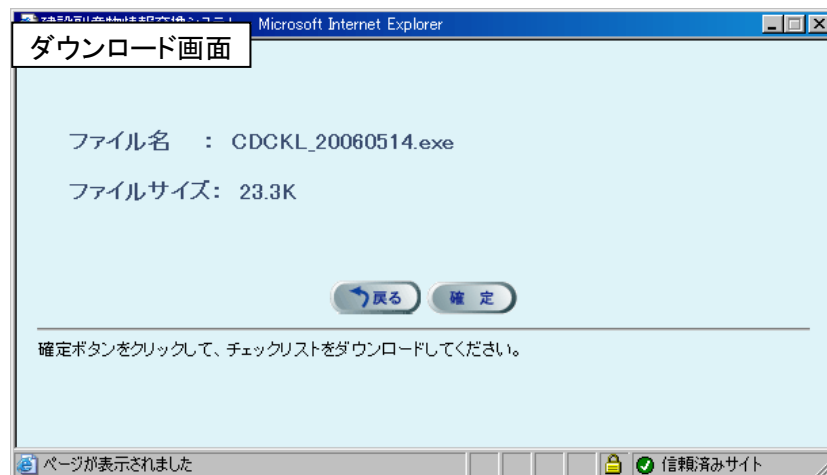
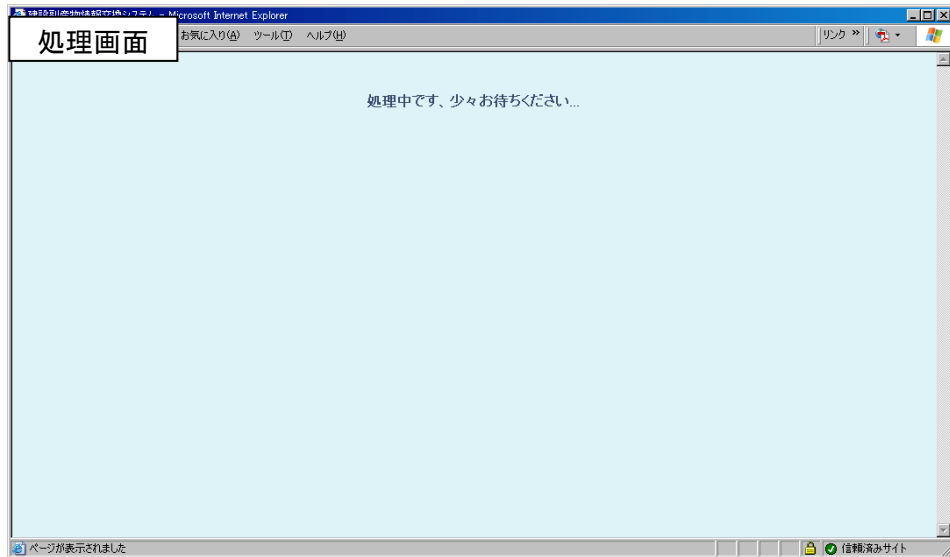
※ 「Internet Explorer」をご利用の方は、「チェックリスト作成」を実行する前に、ポップアップブロックの解除を行って頂く必要があります。ポップアップブロックの解除方法につきましては、以下の URL を参照してください。

<http://www.recycle.jacic.or.jp/osirase/popup.html>

⑧ 搬出先調査チェックリストのダウンロード

「チェックリスト作成」ボタンをクリックすると、処理画面に画面が遷移し、処理が完了すると搬出先調査チェックリストのダウンロード画面が表示されます。

ダウンロード画面が表示されましたら、[確定]ボタンをクリックし、ファイルのダウンロードを行ってください。ファイルのダウンロード完了後、[戻る]ボタンをクリックすることで、ダウンロード画面を閉じます。



※ アップロードする提出用ファイルのサイズが大きい場合、処理に時間がかかり、サーバとの通信が切断されたり、サーバに負荷がかかってしまいます。予め、CREDAS 入力システムで事務所ごとに分割する等、ファイルサイズを小さくしてチェックを行うことを推奨します。

⑨ 搬出先調査チェックリストの閲覧

上記で指定したフォルダ内に、発注機関コードごとに作成された搬出先調査チェックリスト(PDF形式)がまとめて圧縮された自己解凍型の「CDCKL_YYYYMMDD(作成日).exe」で保存されます。該当のファイルをダブルクリックすることで、同一フォルダ内に搬出先調査チェックリストが出現します。各搬出先調査チェックリスト(PDF形式)は、Acrobatを利用して内容を確認することができます。

搬出先調査チェックリスト		CD-ROM版 CREDAS 作成日：2006/05/14	
本省 その他			
【検索条件】 調査区分：実施 工事場所：指定なし 発注機関：指定なし			
工事ID：1240 調査区分：実施 工事名称：〇〇道路舗装工事		1/1	
発注担当者：副産物太郎		工事種類：B-2 舗装 (道路)	
請負金額：10万円		工期：H18年5月15日～H18年7月31日	
発生箇所	入力値	内容	コメント
工事概要	H18/7/31	3. カテゴリ	竣工年月日がH17年度以外です。(対象はH17年度竣工工事です。)
様式1-【コンクリート】 利用量	100.0	12. 原単位	原単位基準値を超えています。
様式2-【コンクリート塊】 現場外搬出量	100.0	12. 原単位	原単位基準値を超えています。
様式2-【コンクリート塊】 現場内利用量	100.0	19. 不整合	対応する現場内利用が無いが、供給元が「現場内」となっていません。

図. 搬出先調査チェックリスト(PDF形式)

【搬出先調査チェックリスト】

搬出先調査チェックリストは、以下の内容でダウンロードされます。

搬出先調査チェックリスト

本頁 その他

「2. 調査年度の指定」の指定条件

1/1

【検索条件】 調査年度: 指定なし 工事種別: 指定なし 発注時期: 指定なし

工事ID: 1288 調査区分: 完成 工事名称: ○○町○○号幹線修繕工事

発注担当者: 前原太郎 工事種別: 修繕 改良 (道路)

請負金額: 100万円 工期: 2018年4月12日～2018年9月31日

1/1

工事概要	入力値	内容	コメント
工事概要 工期 (終了)	2018/01	2. カタゴリ	竣工年度は前年度年度外です。 (別途2017年度竣工工事です。)
様式1: 【コンクリート】 利損量	000.0	02. 原単位	原単位基準値を超えています。
様式2: 【コンクリート】 現場利損量	000.0	03. 原単位	原単位基準値を超えています。
様式3: 【コンクリート】 現場内利損量	000.0	02. 不適合	対応する現場内利損が無いため、原単位が「現場内」となっています。

2/1

工事ID: 1289 調査区分: 完成 工事名称: ○○町○○号幹線修繕工事

発注担当者: 前原太郎 工事種別: 修繕 改良 (道路)

請負金額: 100万円 工期: 2018年4月12日～2018年9月31日

2/1

工事概要	入力値	内容	コメント
様式1: 【建設資材】 現場利損量	000.0	02. 原単位	原単位基準値を超えています。

3/1

工事ID: 1290 調査区分: 完成 工事名称: ○○道路修繕工事

発注担当者: 前原太郎 工事種別: 修繕 改良 (道路)

請負金額: 100万円 工期: 2018年5月15日～2018年7月31日

3/1

工事概要	入力値	内容	コメント
工事概要 工期 (終了)	2018/01	2. カタゴリ	竣工年度は前年度年度外です。 (別途2017年度竣工工事です。)
様式1: 【コンクリート】 利損量	000.0	02. 原単位	原単位基準値を超えています。
様式2: 【コンクリート】 現場利損量	000.0	03. 原単位	原単位基準値を超えています。
様式3: 【コンクリート】 現場内利損量	000.0	02. 不適合	対応する現場内利損が無いため、原単位が「現場内」となっています。

チェック対象の工事情報が表示されます

1 工事(計画・実施ごと)について項目数/全項目数

1項目に5個のチェック内容が表示されます。
1工事(計画・実施ごと)に5個以上のチェックがある場合6個目以降のチェック内容は、次の項目に表示されます。

7

【データチェック内容】

本機能でチェックされる項目は以下のとおりになります。

コード	概要	詳細
1	空白	データが空白です。
2	数値	数値以外の文字が入っています。
3	カテゴリ	竣工年月日が H16 年度以外です。(対象は H16 年度竣工工事です。)
4	コード	コード表に存在しないか、使用できないコードです。
5	工事種別	建築系の工事以外に延床面積等が入力されています。
6	不一致	コードの関係が一致していません。
7	大小関係	大小関係が逆転しています。
8	空白対応	関連するデータが空白です。
9	レンジオーバー	データの再確認をして下さい。(異常値の疑いがあります。)
10	現場内利用	現場外搬出量があり、運搬距離が 0km となっています。
12	原単位	原単位基準値を超えています。
13	解体以外	解体工事で搬入があります。
14	距離オーバー	運搬距離の確認をして下さい。(距離が過大である可能性があります。)
15	隣県	運搬距離の確認をして下さい。
16	値不一致	品目と小分類から資材利用量と再生材利用量が一致していません。
17	工事種別・構造	「工事種別コード」と「構造」の関係が合いません。
18	品目・搬出先	搬出先を確認してください。(建設副産物の品目から不自然な搬出先です。)
19	不整合	対応する現場内利用が無いか、供給元が「現場内」となっていません。
20	現場内利用	現場内利用の供給元の住所が工事場所と一致していません。